

令和5年度 中部地区12市町村 在宅医療・介護連携推進事業  
高齢者シリーズ研修会(第2弾)  
参加人数およびアンケート集計結果報告書



在宅ゆい丸センター

一般社団法人 中部地区医師会  
在宅医療・介護連携推進事業

日時:令和5年10月25日(水) 19:00~21:00

会場:中部地区医師会立 ぐしかわ看護専門学校 講堂

テーマ:身寄りのない方の意思決定支援のあり方

~「身寄りがない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するガイドライン」の活用~  
講師:寺田 明弘 氏 (ゆいま~る法律事務所)

研修目的:去った6月30日に行った同テーマ「身寄りがない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するガイドライン」(以下、ガイドライン)研修会の続編であり、ガイドラインに基づく事例集を参考とした具体的な活用について、さらなる学びを深める機会となることを目指す。

周知方法:当センターHPへ掲載、メール・リスト一括送信、郵送等

周知範囲:中部地区12市町村の医療介護関係施設(約1748か所) 他

【参加者】

参加者:76人

【アンケート目的】

- ・研修会の参加者の傾向や内容の評価
- ・研修会の目的達成度評価
- ・事業活動の評価
- ・今後の研修会や講演会等、事業活動の検討指標

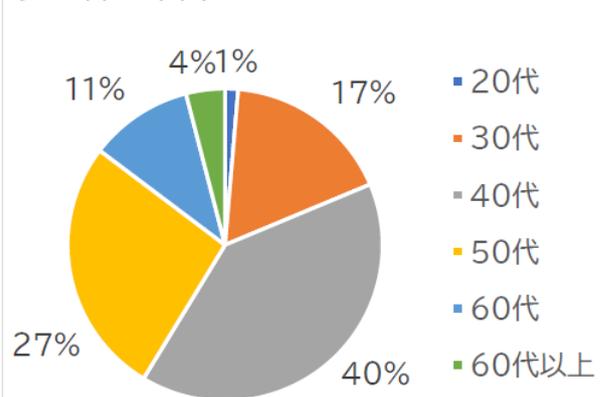
【アンケート集計結果】

アンケート回答数:76人 (回答率100%)

参加者の年代

20歳未満	0人	0%
20代	1人	1%
30代	13人	17%
40代	30人	40%
50代	20人	27%
60代	8人	11%
60代以上	3人	4%
未回答	1人	1%
	76人	100%

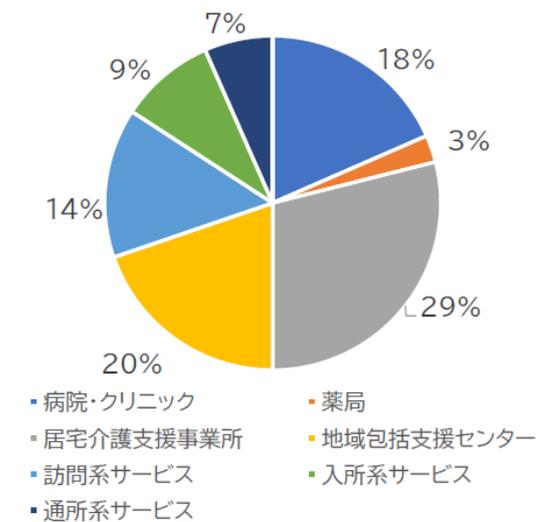
参加者の年代



### 1.事業所の種別

病院・クリニック	14人	18%
薬局	2人	3%
居宅介護支援事業所	22人	29%
地域包括支援センター	15人	20%
訪問系サービス	11人	14%
入所系サービス	7人	9%
通所系サービス	5人	7%
行政	0人	0%
その他	0人	0%
	76人	100%

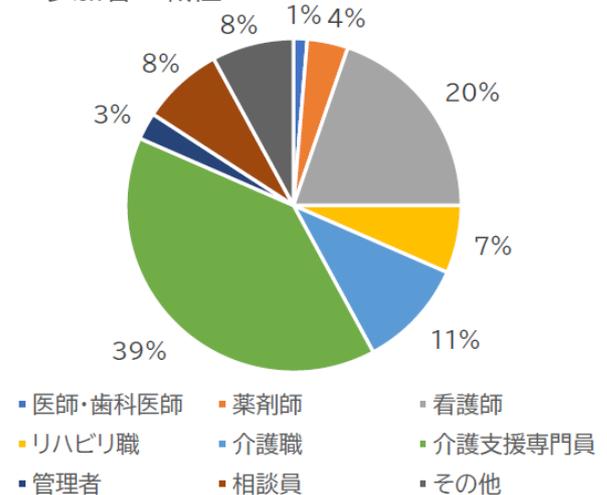
### 1.事業所の種別



### 2.参加者の職種

医師・歯科医師	1人	1%
薬剤師	3人	4%
看護師	15人	20%
リハビリ職	5人	7%
介護職	8人	11%
介護支援専門員	30人	39%
管理者	2人	3%
相談員	6人	8%
その他	6人	8%
	76人	100%

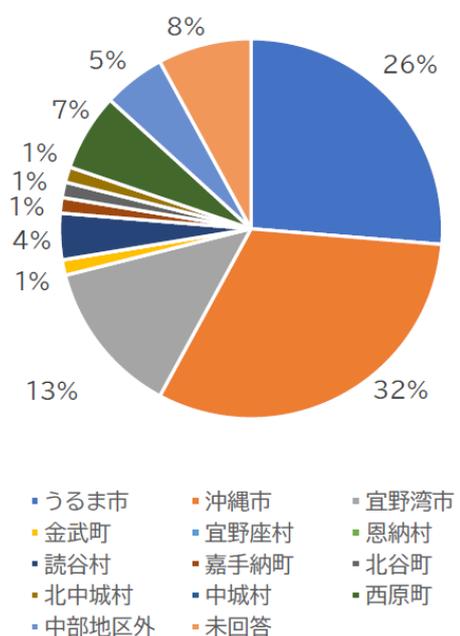
### 2.参加者の職種



### 3.事業所の所在地

うるま市	20人	26%
沖縄市	24人	32%
宜野湾市	10人	13%
金武町	1人	1%
宜野座村	0人	0%
恩納村	0人	0%
読谷村	3人	4%
嘉手納町	1人	1%
北谷町	1人	1%
北中城村	1人	1%
中城村	0人	0%
西原町	5人	7%
中部地区外	4人	5%
未回答	6人	8%
	76人	100%

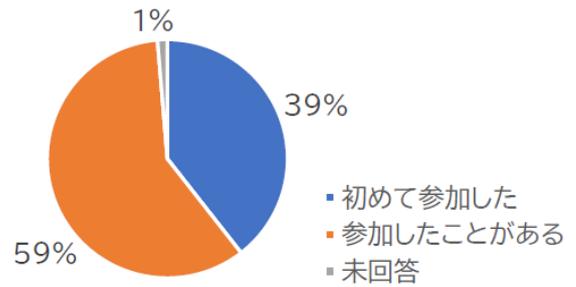
### 3.事業所の所在地



#### 4. 当事業研修会について

初めて参加した	30人	39%
参加したことがある	45人	59%
未回答	1人	1%
	76人	100%

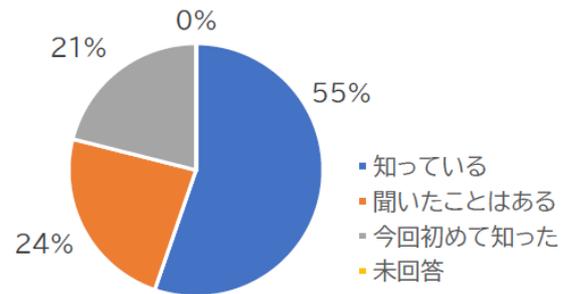
#### 4. 当事業研修会について



#### 5. 当事業の認知度

知っている	42人	55%
聞いたことはある	18人	24%
今回初めて知った	16人	21%
未回答	0人	0%
	76人	100%

#### 5. 当事業の認知度

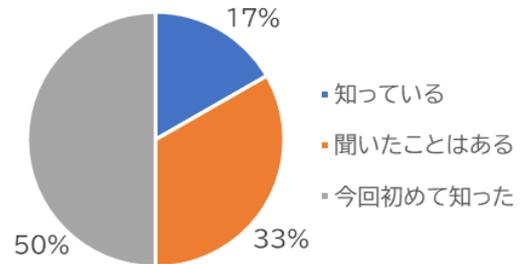


問4. 初めて参加した30人の問5. 回答

#### 初めて参加した方の当事業の認知度

知っている	5人	17%
聞いたことはある	10人	33%
今回初めて知った	15人	50%

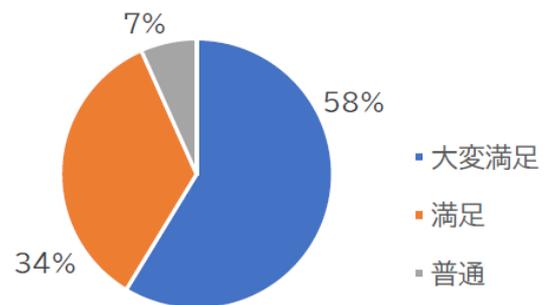
#### 5. 当事業の認知度



#### 6. 研修会の満足度

大変満足	44人	58%
満足	26人	34%
普通	5人	7%
あまり満足できなかった	0人	0%
未回答	1人	1%
	76人	100%

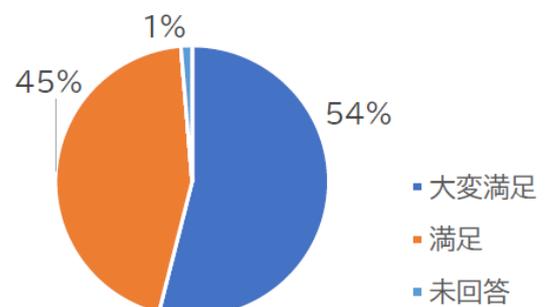
#### 6. 研修会の満足度



#### 7. 業務に活かせるか

大変満足	41人	54%
満足	34人	45%
普通	0人	0%
あまり満足できなかった	0人	0%
未回答	1人	1%
	76人	100%

#### 7. 業務に活かせるか



8.研修会のご感想をご記入ください。(良かった点、学びや気づきのあった点等)

1	身よりや関わりが不十分な利用者さんの意思決定について、厚労省のガイドラインや法的根拠を示してもらいながら人間関係や本人の権利についても考えさせられました。今後、こういうケースの場合、この考え方で行動できる様にしたいです。
2	身よりあるなしではなく、本人による意思決定の大切さにふれることができました。つい支援する側がやりやすい方向に問いかけ説明しがちで…。今回は基本に立ちかえることができました。私はヘルパーです。本人の意思決定の中の家族等になりうるケースがあり(長いつきあいのので)とても、今後、どのように、対応していったらいいかとても考えさせられました。まず、自己らくですぬ!!これから、利用者さんの気持ちを意思をひきだせるような関係作りしていきたいと思いました。
3	事例で色々考える事もあり、キーパソンにたよりすぎず、本人の意思を1番に確認する大切さを再確認できました。
4	ガイドラインとしての考え方はよく分かった。法律面での話もききたかった。
5	今まで意思決定支援の勉強会へ参加したことがあるが、これが一番、分かりやすかった。第1弾も参加したかった。ディスカッション、よかったです。
6	本人の意思決定の大切さを改めて知りました。終末期医療ケアチームのガイドラインなどくわしく見ていきたいと思いました。法的な根拠も含めて、もっと色々勉強していきたいと思いました。グループワークで色々な意見を聞いてとても良かったです。
7	グループワークは、色々な意見があり大変勉強になりました。講師の先生の体験談等もあり、分かりやすかったです。
8	現在直面している問題が課題で活用できると思いました。身よりがない方は多いので、とても参考になり、何かあった土岐、心強いセンターと思います。
9	とても大切な事ではあるが、あまり知識がなかった上で自信がなかったが少しずつでもこれから勉強しなくてはと思いました。
10	とても、楽しくグループワークできました。血縁って何だろう?事例の背景も色々考えられますが、現実的ですが、元の主治医は?等々、考えました。正しいキーワードは、不明ですが、医療連携パスカードがあって、そのカードと保険証が合体していて、日頃からの自身の最期のあり方なども、情報が入っていればなあ～、便利カードで活用できるかと思いました。
11	意思決定のヒントがもらえました。明日からの仕事に活かさせたらと思います。ありがとうございました。
12	身寄りのない人は今後増えていくと考えています。そこで自己決定を促す方法や関わり方を学べた。
13	グループワークで様々な意見が聞くことができ、大変参考になりました。
14	身寄りなしの意思決定の確認や判断について、とても勉強になりました。
15	いろいろな職種と関わって意見交換できて良かったです。ケアマネさんの意見がすごくためになりました。先生の話もためになりました。本人の意見、人生を知り意志決定の支援が必要ですが、個人的には老人の集まる場所、話を聞く場所が少ない用と感じ、高齢者の意見、想いを聞く機会もなくなっている様に思います。
16	グループワークとは意外でした
17	支援の振り返りができ、良かった支援方法、悪かった支援方法を気付けることができた。大変勉強になりました。
18	身寄りのない方を実際受け入れており、都度、本人の状況、状態に応じての話し合いを持ち記録しているが、記録の残し方や本人への説明がきちんと出来ているのか?振り返らないといけないうきっかけになりました。
19	グループワークで活発な意見交換や新たな情報や考え方について学ぶことができた
20	病院で働くと、つい本人の状況や状態や、キーパーソンとの話し合いの中から退院先を考えてしまうこともあるなど研修会を通して実感しました。今後は、本人の意向を大切に、看ゴ師として患者と関わりたいと思いました。
21	意志決定支援についてとても勉強になりました。本人の意志を大切に今後関わっていきたいと思います。

22	ACP を含めた視点でとらえた研修だったので、より支援者となるための方法がわかったので良かった。
23	大変勉強になりました。事例を通して、いろいろな職種の方の考えが聞くことができました。医療・ケアチームのケアチームには、友人や包括職員も入ることができるのか？気になりました。
24	グループワークで色々と活発な意見がきけて良かったです。自分ではイメージになかった考え方などもきけて発見になりました。
25	ひさしぶりに頭を使いました。疲れしました。
26	グループワークでガイドラインの家族等に友人も含まれており、身寄りの意味(親族・縁者)も確認できたことが良かった。
27	寺田先生の話はととても分かりやすい。
28	本人がどのような時(場合)でも本人への意思を確認、わかりやすい説明を交代しておこなっていく事が必要という事を再認識できました。久しぶりの集合での研習への参加で、多職種との交流もできとても良かったです。
29	普段会えない他施設の方々と事例を通していろんな意見が聞けて勉強になりました。今後は、身寄りのない方々も増えていくと思うので、状況に合わせてチームで対応していけたらと思います。ありがとうございました。
30	どの職種でも、自分の判断に悩みがある事が分かった。先生の話や聞きなかに、本人の事をいっぱい考え、アプローチ、進め方、結果のプロセスが大切を実感した。
31	同意が困難な場合でも、伝わるように説明をつくしたり、伝える工夫をしたり、また、記ろくを残すことの重要性を知ることができました。
32	多くの方の意見が参考になりました。
33	高齢者の意思の尊重と尊厳を大切にすることについて深く考えさせていただきました。大変勉強になりました。
34	他機関、他職種の意見を聞き、大変勉強になりました。寺田先生の解説も分かりやすく、実践の場で判断する際、気をつけるポイントを知る事ができ良かった。 ☆第1回目は会場&Web 申し込みいっぱい参加できなかったのも資料だけでも頂けたら嬉しいです。
35	私の施設では、キーパーソンがいることが入居の条件となっているため、キーパーソンがいないという状況が考えられなかった。
36	薬局薬剤師の場合、ある程度情報が出そろってから介入になるケースがほとんど、今回の研修を通して、その本人様の背景をどのようにとらえていくかを考える大切さを感じることができました。ありがとうございました。
37	顔の見える関係もでき、グループワークはととても意義のあるものでした。様々な意見も知ることができ、寺田先生のお話も分かりやすいことばだったと思います。
38	様々な意見を聞くことができ、勉強になりました。
39	他職種の方の意見が聞けて参考になりました。
40	病院以外の事業所や職種で1つのテーマを話し合う中で様々な意見がでるのがとても勉強になった
41	良い学びができました。今後の仕事に生かしていきます。
42	勉強になりました。ありがとうございました。
43	グループワークはいろんな意見が出て(立場によって)勉強になった。実施の状況で、いざ本人の意向を尊重するとなると、もしかして家族がいない方が、よかったりするのでは?!と思いました。(自分の意見だけ言える、周りに気を遣わずにすむ)
44	今回身寄りがない人の意思決定支援の研修会をグループワークをして各他業種の皆さんからの意見を聞きながら色々な話を聞けました。今後デイサービスの利用者様にこのような身寄りがない方への向きあい方を学べたらいいと思います。
45	一つの事例に対してもそれぞれ意見があり聞けて勉強になった。
46	グループワークよりも、身寄りのない方の事例で、こういう状況でどのように対応した等の対応方法や考え方、必要なサービスや疎遠の家族へのアプローチの方法などを学びたかったです。

47	他職でいろいろと話が出来て良かったです。
48	意思決定支援を行うためには「伝える」よりも「伝わる」ことが大切であることを意識して説明することが重要であることを学んだ。また、本人の医師を推定できる立場の人に積極的に関わってもらうことも必要だと感じた
49	ディスカッション方式であったこともあり、視点が広がりました。改めて意志決定支援の原則をかくにんできました。ケア側の意見を通すためのアプローチをとりがちだったと顧みています。(本人の拒否をくつ返す材料さがし)ご本人の為でないことを理解。ありがとうございました。
50	わかりやすい研修会でした。とても参考になりました。業務に生かしていきたいと思います。
51	わかりやすく、とても勉強になりました。ありがとうございました。
52	とてもよかったです。寺田先生おつかれ様でした。
53	よかったです。ありがとうございました。寺田先生のお話しもよかったです。提案ですが、もう少し、わかりやすく、お話していただければと思います。ごめんなさい。
54	グループワークで意見を聞くことで視点が広がった
55	あらゆる側面からの意見が聞けてありがたかったです。
56	普段、困ることが多いことだったのでとても勉強になった
57	成年後見人へつなぐ方法、フロー、相談先
58	色々話し合いがグループで話せたので、よかったです。勉強になりました。ありがとうございました。
59	今、支援している方で苦悩していたため解決方法に近づけ勉強になった
60	勉強になりました。大変良かったです。有りがありがとうございました。
61	勉強になりました。又、多職種でのディスカッションの重要性を改めて感じました
62	寺田先生の丁寧な説明がとても良かったです。正解がない、他人の意思決定支援の重要性が分かりました。
63	様々な職種での対義で、目からウロコの所もありました。どうしても速く!!が進む中で立ち止まってどうすれば思いを組むことが出来るのかを考えることが必要だと思いました。お疲れ様でした。ありがとうございました。
64	グループワークや解説を通して、さまざまな学びや気づきを得ることができました。ありがとうございました。
65	想定内の答えではありましたが、皆さんの考え等、聞く事で大変学びになりました。
66	「法的」な部分を聞くことができて良かった 「本人の人生」であることを改めて認識した
67	グループワークが多くもてたので、またその合間に解説があり、より理解が深まりました。
68	寺田先生の前回と今回の組み立てがよかった。理解度が深まるような2回でした。同じ内容でいいので年開催した方がいいと思いました。こういう倫理的課題についてみんなで考えるグループワーク、研修いいです。上等!!
69	実際行われた意思決定支援の事例も伝えて欲しかった
70	グループワークに力をいただけています

	9.開催してほしい研修テーマやその他ご要望などありましたらご記入ください。
1	身よりのない方が入院する場合、どのような事が必要か。
2	ターミナルケア。身寄りのない方のケアのかかわり方(在宅での)
3	身寄りのない方の支援で、医療チームの考え方を聞いてみたいです。
4	ぎゃくたいなどの対応が知りたいです。
5	医療ニーズが高い人への在宅復帰について。
6	身寄り、家族に頼らない入院、入所が実現できるよう、病院、施設内でのガイドライン作成に力を注いで頂けるとうれしいです。本人の望む支援が実現できるような環境作りができれば良いと思います。
7	①精神疾患を掛える本人と家族を地域で支えていくために、病院と地域の支援機関の連携について ②多問題家族の支援について
8	南部でもやって欲しい。
9	グリーフケアについて
10	難しかった事例で、どのように対応していったのか。
11	もう少しゆっくり今回のテーマがあったもいい。寺田先生とも意思決定支援した合同カンファレンス行った経験も今も活かしています。
12	これまでの研修テーマを深掘りして欲しい。
13	看取り
14	今回の様に色々なシチュエーションで検討会を行ってほしい。(例:在宅医療介入事例など)
15	身寄りのない方の居住サポートについて
16	看取り等
17	身寄りのないシリーズは続けてほしい
18	また同じテーマ!!自宅に帰る場合の調整について、本人の意向をどこまでくみとるか?!やりたいこと全部はできない
19	リアル開催!!
20	このままでよいかと思います。
21	身寄りのいない方、老々介護等、病院、通院、同行、医療へ繋がらない方々、治療を受けられない方の支援
22	意思決定が難しい人が過去に「延命したい」と意志表示していたら…どうするか?
23	認知症ケアについて。看取りケアについて。
24	本当に身寄りのない人たちの施設入所等など難しくなっています。今後どのようなサポートでこのような方達を守っていけるのか、今後の展開(方針含め)体制などについてどのように考えているのか知りたいです。
25	地域と医療・福祉・施設のつながり方、良い事例などについてしりたいです。
26	またふみこんだ事例を聞きたいです。
27	意思疎通が困難
28	身よりのない方の支援について、行政、包括、地域でできる事、モデルケースなどを具体的に知りたいです。実際、成年後見人制度申請にかんしましても、現場を知らない行政だと緊急性など分かってもらえず、どうアプローチしたらよいか、モデルケースがあれば!!

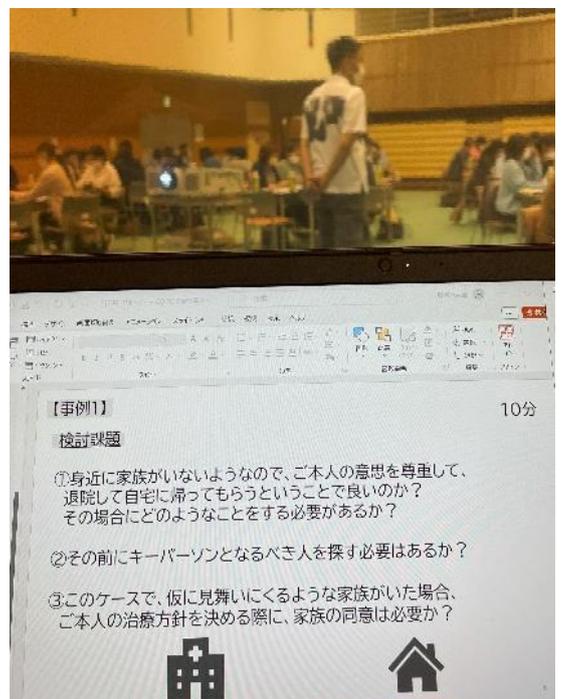
## 【研修会の様子】



講師: 寺田先生



理事: 末永副会長



グループワーク発表の様子